

**森議員** それでは、私からは二点質問させていただきます。まずは、本町内への防犯カメラの設置について。人口が多く、犯罪件数も多いような都市では、すでに一般的にも普及している防犯カメラですが、本町においては、特定の施設や店舗以外ではあまり見かけないものだと思います。犯罪件数が少ないということは、大変誇らしいことではありますが、近年よく報道される不審火、窃盗、器物破損などの悪戯行為は決して本町においても他人事ではなく、現に昨年末より、この春にかけて、郡内で駐車している車を無差別に傷つけるという事件が立て続けに起こっていました。田舎だから必要ないのではなく、むしろ人の目が少なく行き届かない田舎だからこそ、こういった防犯カメラを有効的に活用していく必要があるのではないのでしょうか。また、防犯カメラというと、その名の通り犯罪を防ぐという意味で設置されているものだと思いますが、他の事案でも役立つ例がいくつか挙げられます。例えば、認知高齢者の徘徊の早期発見について。これは特に高齢者が多く、人目の少ない地域では大きな問題でもあり、近年人身事故の多くの原因の一つにもなっています。そういった方々を早期に発見するということは、大変痛ましく不幸な事故を一つでも減らすことにもつながるのではないのでしょうか。また、子どもを狙った犯罪が懸念される昨今、子ども達の安全を守るという意味で、通学路への防犯カメラの設置も有効だと思います。お隣の高知県では、警察本部が主導して通学路等への防犯カメラの設置を促進するための補助制度を創設していますが、本件では残念ながら、こういった助成制度は各自治体へ委任されている状況です。本庁では、このような防犯カメラの設置促進助成制度について、どのようにお考えか、また、今後の防犯対策としてのカメラを設置することへの展望をお聞かせください。二点目は防災用ライブカメラについて、現在本町には、役場から西の船着き場を映しているものが一点、海の総合文化センターから中央橋や海部病院を映しているものが一点の計二点のライブカメラが設置されていますが、この二点はいずれも防災用として町が設置しているもので、町のホームページからもリンクが貼られており、いつでも確認することができます。防災用としてありますので、役場の方のカメラは津波などの災害時の水位を確認する

ために、総合文化センターの方は、おそらく河川の状況などを確認する用途で置かれているのだと思うのですが、例えば、先日続いた長雨や毎年のように訪れる台風のと看、度々道路が浸水して通れなくなっている旧河内小学校の近くの鉄橋の下、あそこにカメラを設置すれば、道路の状況がどうなっているかを誰でも確認することができ、また、町内放送を行う際も迅速にそのことを伝えることができると思うのですが、いかがでしょうか。また、町のホームページのトップ画像にも使われているような、出羽島から大島を望むアングルでのライブカメラを設置することができれば、大島の向うから昇る朝日を拝める絶景が映り、観光PRの素材としても有効で、町内に設置しているライブカメラより、町に津波が到達する前にいち早く海の状況を観測することができると思います。他にもサーフスポットとして人の集まる内妻海岸にライブカメラを置けば、波の状況を知りたいサーファーの方のために役立つでしょうし、こちらも町へ人を呼び込むアピールにつながるでしょう。このように、あくまでもメインは防災用としてのライブカメラではありますが、もし、もう一つの用途としても使うことができれば、より有効的に活用することができるのではないのでしょうか。さらに言えば、緊急時により多くの人が情報を共有できるように、動画共有サイトのストリーミング機能などを合わせて使えるようになれば、SNSでの拡散効果も見込めます。スマートフォンの普及で誰でも手軽にインターネットに触れることができ、すぐに情報を拾うことができる昨今、こういったことも念頭に、今後、どのような対応をお考えか回答をお願いします。よろしくをお願いします。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** 森議員のご質問にお答えいたします。まず、防犯カメラの設置等についてですが、防犯カメラは、人口が多く犯罪件数も多い都市部では、すでに一般的に普及していると思いますが、牟岐町では、牟岐小中学校の敷地内に4か所設置されているだけで、それ以外の場所には、金融機関や特定の店舗を除き、余り見かけない設備だと思います。当然、防犯カメラを設置したからといって、完全に安全性が確保されるわけではありませんが、防犯カメラは、犯罪者の検挙に有

用であるとともに、設置されていることによる犯罪の抑止力に大きな効果があると思われま。さて、補助制度の創設についてですが、議員のご質問にもあったとおり、隣県の高知県警察本部では、街頭犯罪の発生の防止及び子どもの通学路等の安全を守るための防犯カメラに対しての補助制度がございます。このように、通常は、犯罪防止のための物であることから、警察が主導的に行うものだと思いますが、犯罪弱者である児童生徒の安全確保は、町としても重要な施策と考えられます。したがって現在、子ども達の通学路に関しては登下校時、見守り隊の方々が見守ってくださっていますので、今後は、学校施設や保育園周辺への設置について、検討したいと思います。なお、認知高齢者の徘徊については、介護保険制度の老人徘徊感知機等の貸与制度の利用を考えていただきたいと思。つぎに、防災用ライブカメラの増設及び活用についてですが、これは平成22年に、地域イントラネット事業として、海部郡3町で、海面監視や水位の確認等を目的として、整備いたしました。また、議員ご提案の観光PRへの利活用については、牟岐町のインターネットから、ライブカメラの映像が見えますので、ご覧になっている方もおいでだと思いますが、今後、スマートホン等での多様な利用ができるよう、検討してまいりたいと思います。なお、このライブカメラの増設は、1台につき、200万円以上必要であることから、現時点での増設は考えていませんが、議員ご指摘のように、防災のため、あるいは、観光振興のため、設置すれば有用な箇所は、沢山あると思いますので、今後、機会をとらえ、設置に向け検討してまいりたいと思います。

**枅富議長** 森議員。

**森議員** 再問します。このライブカメラ、これは、今、牟岐町で3台の設置ですけれども、現在、2台しか稼働していません。今、インターネットから見えますと。見えるのは昼間だけで夜間は全く見えないので、これであれば何の意味もないので、ライブカメラは昼夜を問わず、夜も見えるような機種 of 交換をする必要があると思。夜は全く電気の灯りしか見えないので、これでは防災用のライブカメラとしては、外れているというか、ただ、昼間だけを映しているというのでは、これは、また、そういうときに検討して欲しいと思。それと、防犯カメラの方ですけれども、牟岐町では、今、個人の方が自分の身は自分で守るという気持ちで数件、この防犯カメラを設置されています。個人的に自分でお金を出して、レンタルを組んでやっています。町としては、町

民の財産と生命の安全を守る観点から設置を前向きに検討して欲しいと思います。防災用のライブカメラですけど、今、夜間が見えないので、そういう面は、どういうお考えを持っているのか。町長から回答をお願いします。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** 議員ご指摘のとおり、実は3台設置しているのですが、2台しか稼働していません。と申しますのは、旧西部保育所についている分が電源がないということで、止まっているということです。これは早急に何とかしたいと思っていますので、よろしくをお願いします。それと、夜間見えないと効果が半減ではないかということですが、おっしゃるとおりですので、機種を替えるといってもどの程度費用が掛かるか分かりませんので、再度、価格を検討しまして、ご相談させていただきたいと思います。よろしくをお願いします。それと、防犯カメラにつきましては、確かに不審者が自分の家の周りをうろついて困るとか、そういうことで設置をしたいというふうなご意見も伺ったことがあります。警察の方にもその旨、お伝えしたこともあります。ただ、個人の方が付けるのを町がどこまで補助するかというのは、非常に財源的に難しい問題だと思いますので、再度、どういうふうな方法があるのか、検討しまして、皆さんにご相談したいと思います。よろしくをお願いします。

**枅富議長** 森議員。

**森議員** これは、防犯用ですけど、犯罪を防ぐ意味もあるので、問題が起こってから、誘拐とか問題が起こってからというのでなしに、ぜひ前向きに各地域の方と検討して、必要なところに付けていくということをお願いして質問を終わります。